

会議録

会 議 名	第 1 回 八王子市地域保健福祉推進協議会	
日 時	平成 2 0 年 8 月 2 7 日 (水) 午後 3 時 ~ 4 時 1 5 分	
場 所	八王子市役所 本庁舎 第 6 委員会室	
出 席 者	委 員	赤上晃、稲川芳江、大山博、小野塚幸子、佐々木武麿、塩澤迪夫、夢田靖史、野山修、早川満、平塚美臣、松浦明美、山口幸男、和気純子、渡辺直大
	事 務 局	岡部健康福祉部長、早川保健担当部長、遠藤健康福祉総務課長、青柳高齢者相談課長、塚本高齢者支援課長、木内介護サービス課長、尾川地域医療推進課長、尾寄保健総務課長、木内保健センター所長
欠 席 委 員	関谷和久、平川博之、森真一	
議 題	1 . 会長及び副会長の選任について 2 . 協議会の位置付けについて 3 . 地域保健福祉計画の取組み状況について 4 . 今後の進め方について 5 . その他	
公開・非公開の別	公開	
非 公 開 理 由		
傍 聴 人 の 数	なし	
配 付 資 料 名	(事前配付) 資料 1 「八王子市地域保健福祉推進協議会委員名簿」 資料 2 「八王子市地域保健福祉推進協議会設置要綱」 資料 3 「八王子市地域保健福祉推進協議会の概要」 (当日配付) 資料 4 「進行管理の方法について」 資料 5 「今後のスケジュール」	

<p>会 議 の 内 容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 副市長挨拶 ・ 各委員紹介 ・ 事務局紹介 ・ 「会議の公開に関する指針」に基づき、会議及び会議録公開並びに会議の録音に関して承認 ・ 議事 <p>1．会長及び副会長の選任について</p> <p>【事務局】資料2「八王子市地域保健福祉推進協議会設置要綱」第5条第1項により「協議会に会長及び副会長を置く」とし、第2項で「会長は第3条第1号の委員のうちから委員の互選により定める」としてあります。いかがいたしましょうか。</p> <p>【佐々木委員】「八王子市地域保健福祉計画」の策定委員会委員とほとんど同じメンバーのため、策定委員会委員長であった大山委員が良いと思います。</p> <p>【事務局】委員の皆様、いかがでしょうか。</p> <p>【委員一同】異議なし。</p> <p>【大山委員】昨年からの関係もあるので、引き受けさせていただきます。最後の策定委員会で皆様に「生みの親」から「育ての親」になっていただくようお願いしました。皆様と共に進行管理をしていきたいと考えておりますのでよろしくをお願いします。</p> <p>【事務局】大山委員を本協議会の会長と決定しました。今後は大山会長に議事進行をお願いします。</p> <p>【会長】続きまして副会長の選任であります。要綱第5条第3項で「会長の指名による」としてあります。副会長には、地域保健福祉計画策定委員会の副委員長でありました赤上委員にお願いしたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>【委員一同】異議なし。</p> <p>【赤上委員】引き受けさせていただきます。昨年の策定委員会で最後というのは、少し寂しいと感じておりました。ほとんどの委員が昨年と同じで良かったと思います。よろしくをお願いします。</p> <p>2．協議会の位置付けについて</p> <p>【会長】それでは議事2に入ります。事務局より説明をお願いします。</p> <p>【事務局】資料3説明。</p> <p>【会長】資料3「方向性の図」については、策定委員会の時も議論になりました。推進協議会では、地域保健福祉計画の進行管理だけではなく、保健医療・福祉に関して広く意見・協議していこうというものです。情報の共有化と総合的な意見交換をしていきたいと思います。各分科会との調整も必要になってくると思います。</p> <p>3．地域保健福祉計画の取組み状況について</p> <p>4．今後の進め方について</p>
------------------	--

【会長】続いて議事3ですが、議事4とも関連してくると思いますので、併せて事務局から説明をお願いします。

【事務局】 参考資料1、資料4及び資料5を説明。

【会長】ただいまの説明に関しまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。いかがでしょうか。119もの取組みがありますので、問題があるものについて個別に議論しようというものです。議論する取組みについては、委員の皆様から御提案をいただくのも良いと思います。

【佐々木委員】各分科会で議論した内容について、再度、推進協議会で議論するということが良いでしょうか。

【事務局(遠藤健康福祉総務課長)】分科会を設定するかどうかについても検討していただきたいと思っております。現在、「こども」や「障害者」の分野については、策定や進行管理を行う組織が別にあります。現時点で整理はできませんが、各組織と連携し、推進協議会を進めながら調整していきたいと考えております。

【佐々木委員】資料3の図で整理しているように、分科会を設置し課題を抽出したほうが良いと思います。

【事務局(遠藤健康福祉総務課長)】推進協議会では、新規に策定した「地域福祉計画」「保健医療計画」「高齢者計画」の3つの計画について、進行管理や評価をしていただきたい。資料3の図については、保健医療・福祉の総合的な意見交換の場として将来的に考えられる組織体制を例示したものです。推進協議会の位置付けについても、今後議論していただきたいと考えております。

【佐々木委員】わかりました。早めに分科会を作るようお願いします。

【事務局(遠藤健康福祉総務課長)】次回以降、分科会の設置についても検討をお願いします。

【佐々木委員】「個別検討資料」については、市が作成するということが良いでしょうか。

【事務局(遠藤健康福祉総務課長)】一次評価は事業所管、二次評価は事務局を中心として行うものです。二次評価の結果「C評価」のものについて、推進協議会で議論していただきたい。会長の話のとおり、委員の皆様から議論すべき取組みを事務局に御提案いただければ、案件として取り扱いたいと考えております。

【会長】推進協議会については、計画の進行管理だけではなく、保健医療・福祉に関する総合的な意見交換の場としていきたい。関連計画の進行状況や評価を共有し、活発な意見交換をしていきたいと思います。地域保健福祉計画の策定の際も時間のない状況でした。また、策定した計画の取組み全てを検証するのも、時間がかかります。推進協議会では、保健医療・福祉の総合的な意見交換を重視し、アイデアを出し合う会としていきたいと考えています。皆様、よろしいでしょうか。

【委員一同】異議なし。

【会長】年2回の開催、推進協議会の進め方等について、その他の意見はござ

いますでしょうか。議事3・4についてはよろしいでしょうか。

【委員一同】異議なし。

【会長】それでは、地域保健福祉計画とも関連しますので、内閣府が発表した「社会保障の機能強化のための緊急対策～5つの安心プラン～」について話をさせていただきたいと思います。行政でも検討させていただきたいことですので、問題提起をするものです。まず「高齢者の知識・経験を生かした就業・起業支援」とありますが、厚生労働省も経済産業省と連携していこうというものです。「地域福祉計画」に関連してくるのが、コミュニティビジネスだと思います。「安心プラン」の中で21年度の新規事業として「ソーシャルビジネス」という言葉が使われていますが、国では初めて使用しました。ヨーロッパでは、「ソーシャル・エンタープライズ」という言葉を使っており、市で言うところのコミュニティビジネスになります。コミュニティビジネスには健康づくりやコミュニティの構築等、色々な側面があると思いますので重視したいものです。また、「ふれあい広場（仮称）事業の推進」では、「空き教室」と書かれています。「空き教室」を利用して地域貢献の場としていこうというものであり、市でもどの位の「空き教室」があり、どの程度使用されているか調査する必要があると思います。高齢者は活動の場が多くありません。コミュニティビジネスやオフィス等で「空き教室」を利用し、活動の場を提供するのも良いと思います。地域資源を活用することも大事だと思います。行政側では、所管の問題もあるかもしれませんが、知恵を出し合っていただきたいと思います。いつか推進協議会で議論しても良いかもしれません。

次に「認知症の方が安心して生活することができるための対策への推進」です。認知症対策については、八王子でも重要になってくると思います。松浦委員の医院でも技術療法をしています。認知症対策のノウハウを蓄積していくことが重要だと思います。また「リバースモーゲージ」のことが書かれています。8月9日付の朝日新聞で社会福祉協議会の「長期生活福祉資金」のことが掲載されており、需用があるが担保割れ等の問題もあるというものです。これは、低所得者や生活保護受給者を対象にしているもので、家を担保にし資金を借りるというものです。建物は対象外となっており、土地のみが対象となっています。また、マンションは対象外です。現在、銀行3社が行っており、色々制限がありますが国土交通省が推進していこうというものです。日本では、武蔵野市の福祉公社が初めて取り入れたもので、八王子でも、介護サービスを利用したい方で、家はあるが現金がない方等に利用できるしくみをつくるのも良いかもしれません。以上、市でも検討してはいかがかという内容について情報提供をさせていただきました。

5. その他

【会長】それでは、事務局から説明をお願いします。

【事務局】次回の推進協議会については、11月18日（火）13時30分から602会議室で開催したいと思います。また、八王子学園都市大学では「ウ

	<p>エルピーイングな“まちづくり”をテーマにした講座を行います。推進協議会とも関連がありますし、大山会長の講座もありますのでよろしかったら参加をさせていただきたいと思います。</p> <p>【会長】地域保健福祉計画の概要版を使用することを考えております。よろしかったら参加をお願いします。その他に何かありますでしょうか。</p> <p>【小野塚委員】最後の策定委員会の際、資料に日付を入れるようお願いしたところ、今回から資料に日付を入れていただきました。ありがとうございます。</p> <p>【副会長】参考資料1の文字が小さくて読めません。</p> <p>【事務局（遠藤健康福祉総務課長）】文字を大きくして、再送付させていただきます。</p> <p>【渡辺委員】取組みに「通し番号」を付けていただくと分かりやすいと思います。</p> <p>【事務局（岡部健康福祉部長）】再送付の際に修正させていただきます。</p> <p>【会長】その他にはありませんでしょうか。計画の推進について、他の自治体で行っていて気付いたのですが、計画を作っても進まないということです。実行部隊を作っていくべきだと思います。行政は後方支援をする。財源については、一般財源だけでは困難ですので、基金やファンド等を幅広く活用していくのも必要です。計画策定の時にも共同募金の話をしていただきました。また、人材育成も必要です。ボランティア養成のみではなく、八王子でも行ってありますが起業塾等を行い、経営のノウハウを身に付けることも大事です。地域の問題を発見、解決するために今までと違うメニューを用意していくべきだと思います。市民活動支援センターを活用し、多様な人材を育てることを重視する必要があるかもしれません。それでは、第1回の推進協議会を終了します。</p>
会議録署名人	平成20年10月 6日 大山 博